



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 651 | 14.5 | 43 | | 44 | | 78 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 761 | 3.4 | 56 | | 55 | | 61 | |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 79百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 74百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 20.48 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 14.81 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 5,944 | 5,118 | 86.1 |
| 2020年3月期 | 6,102 | 5,353 | 87.7 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,118百万円 2020年3月期 5,349百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | 40.00 | 40.00 |
| 2021年3月期 | | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | 0.00 | | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,572 | 5.1 | 85 | 154.5 | 85 | 103.9 | 14 | 86.3 | 3.77 |
| 通期 | 3,183 | 5.2 | 237 | 8.5 | 238 | 2.8 | 194 | 3.5 | 50.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期1Q | 4,536,000 株 | 2020年3月期 | 4,536,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期1Q | 719,612 株 | 2020年3月期 | 719,612 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期1Q | 3,816,388 株 | 2020年3月期1Q | 4,134,788 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う、休業要請、外出自粛要請等もあり、企業の景況感の悪化、個人支出の減少等、経済活動に急激な縮小が見られました。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、休校せざるを得ない時期もあり、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底することにより、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続することに尽力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高6億51百万円(前年同期比1億10百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業損失43百万円(前年同期は営業損失56百万円)、経常損失44百万円(前年同期は経常損失55百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は5,900名(前年同期比7.4%減)となり、売上高は4億74百万円(前年同期比49百万円減)となり、セグメント損失は28百万円(前年同期はセグメント損失14百万円)となりました。

(スポーツ事業)

当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は5,670名(前年同期比23.8%減)となり、売上高は1億12百万円(前年同期比41百万円減)、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は50百万円(前年同期比3百万円減)、セグメント損失は11百万円(前年同期はセグメント損失16百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は13百万円(前年同期比16百万円減)、セグメント損失は3百万円(前年同期はセグメント損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は43億39百万円(前連結会計年度末比38百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億38百万円減少し、商品及び製品が91百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は16億4百万円(前連結会計年度末比1億19百万円減)となりました。

これは主に、投資有価証券が1億3百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億82百万円(前連結会計年度末比67百万円増)となりました。

これは主に、その他(前受金)が98百万円増加したことと、短期借入金が増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億43百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

これは主に、その他(預り保証金)が13百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は51億18百万円(前連結会計年度末比2億34百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億30百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、前期比470名減(7.4%減)、予想比85名減(1.4%減)と予想を若干下回る水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績についても、前期比1,771名(23.8%減)減、予想比1,181名減(17.2%減)となっております。コロナウイルス感染症拡大の影響が予想より大きく、連結売上高については、予想を下回る水準で推移しておりますが、費用面では、前期より進めている販管費・原価の削減の効果が出てきており、連結営業損益については、予想の範囲内で推移しております。平均生徒数実績に含めていない学習塾、スポーツクラブの休会者についても、戻りつつあります。

以上の状況を踏まえまして、第2四半期以降、教育事業・スポーツ事業ともに、生徒数は回復していくと予想しております。第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、共に、前回公表数値と同額を予想しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響については、予測が難しく、業績に大きな変動があった場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,076,521 | 3,938,101 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,457 | 11,187 |
| 商品及び製品 | 183,360 | 274,521 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,151 | 9,867 |
| その他 | 91,726 | 106,182 |
| 流動資産合計 | 4,378,217 | 4,339,860 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 338,187 | 330,188 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 43,676 | 40,037 |
| その他 | 24,399 | 23,770 |
| 無形固定資産合計 | 68,076 | 63,807 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 818,658 | 714,964 |
| その他 | 499,684 | 495,839 |
| 投資その他の資産合計 | 1,318,343 | 1,210,803 |
| 固定資産合計 | 1,724,606 | 1,604,799 |
| 資産合計 | 6,102,824 | 5,944,659 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 35,082 | 23,549 |
| 短期借入金 | 200,000 | 220,000 |
| 未払法人税等 | 67,729 | 1,373 |
| 賞与引当金 | 43,164 | 64,951 |
| その他 | 268,387 | 372,147 |
| 流動負債合計 | 614,363 | 682,022 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 102,108 | 97,208 |
| 資産除去債務 | 18,292 | 18,148 |
| その他 | 14,868 | 28,402 |
| 固定負債合計 | 135,268 | 143,759 |
| 負債合計 | 749,632 | 825,781 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 212,700 | 212,700 |
| 資本剰余金 | 29,700 | 29,700 |
| 利益剰余金 | 5,768,858 | 5,538,182 |
| 自己株式 | △631,962 | △631,962 |
| 株主資本合計 | 5,379,295 | 5,148,619 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △46,743 | △46,542 |
| 為替換算調整勘定 | 17,277 | 16,800 |
| その他の包括利益累計額合計 | △29,465 | △29,741 |
| 非支配株主持分 | 3,362 | — |
| 純資産合計 | 5,353,192 | 5,118,878 |
| 負債純資産合計 | 6,102,824 | 5,944,659 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 761,878 | 651,634 |
| 売上原価 | 584,083 | 494,463 |
| 売上総利益 | 177,795 | 157,171 |
| 販売費及び一般管理費 | 234,659 | 200,692 |
| 営業損失(△) | △56,864 | △43,521 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 336 | 337 |
| 受取配当金 | 1,246 | 2,785 |
| 持分法による投資利益 | 139 | — |
| 受取賃貸料 | 492 | 446 |
| 保険解約返戻金 | 925 | — |
| その他 | 528 | 201 |
| 営業外収益合計 | 3,668 | 3,771 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 854 | 683 |
| 持分法による投資損失 | — | 640 |
| 投資有価証券評価損 | 1,237 | 3,035 |
| その他 | 15 | 7 |
| 営業外費用合計 | 2,108 | 4,367 |
| 経常損失(△) | △55,304 | △44,117 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 817 |
| 特別利益合計 | — | 817 |
| 特別損失 | | |
| 役員退職慰労金 | — | 30,000 |
| 固定資産除却損 | 281 | 7,541 |
| 特別損失合計 | 281 | 37,541 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △55,586 | △80,841 |
| 法人税等 | 5,657 | △1,486 |
| 四半期純損失(△) | △61,243 | △79,355 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △1,182 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △61,243 | △78,172 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △61,243 | △79,355 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △13,887 | 201 |
| 為替換算調整勘定 | 749 | △476 |
| その他の包括利益合計 | △13,137 | △275 |
| 四半期包括利益 | △74,380 | △79,630 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △74,380 | △78,447 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △1,182 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 (千円) | 合計 (千円) | 調整額 (注)2 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円) |
|---------------------------|--------------|----------------|--------------|-----------|---------------------|------------|---------------------|-----------------------------------|
| | 教育事業 (千円) | スポーツ事業 (千円) | 飲食事業 (千円) | 計 (千円) | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に 対する売上高 | 524,390 | 154,331 | 53,971 | 732,692 | 29,185 | 761,878 | — | 761,878 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | — | — | — | — | 701 | 701 | △701 | — |
| 計 | 524,390 | 154,331 | 53,971 | 732,692 | 29,886 | 762,579 | △701 | 761,878 |
| セグメント損失 (△) | △14,069 | △21,566 | △16,091 | △51,727 | △5,137 | △56,864 | — | △56,864 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 (千円) | 合計 (千円) | 調整額 (注)2 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円) |
|---------------------------|--------------|----------------|--------------|-----------|---------------------|------------|---------------------|-----------------------------------|
| | 教育事業 (千円) | スポーツ事業 (千円) | 飲食事業 (千円) | 計 (千円) | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に 対する売上高 | 474,604 | 112,499 | 50,904 | 638,008 | 13,625 | 651,634 | — | 651,634 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | — | — | — | — | 229 | 229 | △229 | — |
| 計 | 474,604 | 112,499 | 50,904 | 638,008 | 13,855 | 651,864 | △229 | 651,634 |
| セグメント損失 (△) | △28,466 | △616 | △11,064 | △40,147 | △3,374 | △43,521 | — | △43,521 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。